

国連機関と連携した 「食品ロス削減学習プログラム」 を横浜市立日枝小学校で展開！！

資源循環局ではSDGs（持続可能な開発目標）のターゲットでもある食品ロス削減に取り組んでいます。

このたび横浜市教育委員会ESD推進校である横浜市立日枝小学校と連携して、食品ロス削減に向けた学習プログラムを策定しました。

次世代を担う子どもたちが、学校での学習を通じて食品ロス削減について学び、自身でできることを考えます。

第1回目の授業は国連食糧農業機関（FAO）駐日連絡事務所のポリコ所長が世界の食料事情などについて講話します。なお、7月4日のFAO講話は5学年全員（120名）を対象に実施し、以降のプログラムは5年3組のみ実施します。

ぜひ取材にお越しください。



ンプリ・チャールズ・ポリコ所長



Food and Agriculture Organization
of the United Nations



横浜市立日枝小学校



横浜市資源循環局

【年間プログラム】

時期・時間	内容	担当
7月4日(水) 11:25~12:10	「世界の食料事情、食料ロス・廃棄が与える影響」【講話】	FAO 資源循環局
	講師：国連食糧農業機関（FAO）駐日連絡事務所 所長 ンプリ・チャールズ・ポリコ ※日本語での講話です。 ※終了後、子どもたちと一緒に教室で給食を食べます。（取材可）	
随時	どんなところから「食品ロス」が出るか、調べてみよう【課題】	日枝小学校
10月	「食品リサイクル」を学ぶ①【講話】	資源循環局
	「食品リサイクル」を学ぶ②【体験】	資源循環局 日枝小学校
随時	地産地消やフードマイレージ、流通、食料自給率との関連【社会科授業】	日枝小学校
11月	食品ロスを出さないためにできることを考える（家で、学校で、お店で）【GW】	資源循環局
12月～ 1月ごろ	まとめ・食品ロスを出さないように呼びかけよう【発表】	日枝小学校 FAO 資源循環局

※2回目以降の取材が可能な授業は別途記者発表します。

1 ねらい

- (1) 世界と日本の食料事情の違い、食品廃棄が環境に及ぼす影響を学び、どうして食品ロス削減が必要なのかを学ぶ。
- (2) 「食の循環」を理解することで、食べものを大切にする気持ちを醸成する。
- (3) 年間を通じたプログラムにより「聴く」、「調べる」、「考える」、「体験する」、「伝える」など、自らの問題として捉え、食品ロスを出さないライフスタイルの定着を図る。

2 実施体制

横浜市教育委員会・日枝小学校／国連食糧農業機関（FAO）駐日連絡事務所／資源循環局

3 ンプリ・チャールズ・ポリコ所長 プロフィール

Mbuli Charles Boliko 氏はコンゴ民主共和国出身、キサンガニ大学で学士（心理学）及び修士（産業心理学）取得。キンシャサにある商科大学（Institut Supérieur de Commerce）で3年間教鞭を執った後、1990年来日し名古屋大学大学院国際開発研究科より国際開発論で博士号を取得。1年程名古屋大学での講師の後、1997年より国際連合食糧農業機関（FAO）に勤務。1998年から2003年までFAO ニューヨーク連絡事務所、2003年より事務局局長官房付としてローマ本部へ異動。2009年からはFAO 人事部雇用・配属担当チーフ。2013年8月、FAO 駐日連絡事務所の初の外国人所長として着任。FAO での勤務の傍ら客員教授として人事管理及び行政・開発について母国コンゴ民主共和国・カトリック大学で教鞭も執る。

4 ESDとは

ESDは、Education for Sustainable Development の略で「持続可能な開発のための教育」と訳されています。ESDとは、地球に存在する人間を含めた命ある生物が、遠い未来までその営みを続けていくために、環境・貧困・人権・平和・開発といった様々な地球規模の課題を自らの問題として捉え、一人ひとりが自分にできることを考え、実践していくことを身につけ、課題解決につながる価値観や行動を生み出し、持続可能な社会を創造していくことを目指す学習や活動です。

5 横浜市の食品ロスの現状

本市の家庭から出される燃やすごみには、手つかず食品、食べ残しなど本来はまだ食べられるのに捨てられている食品が年間約87,000トン含まれています。これを市民一人あたりに換算すると、年間約23キログラムの食品ロスを出していることになります。



この食品ロスを減らすため、資源循環局では世界の食料事情や食育、地産地消などの視点を盛り込みながら、様々な機会を捉え、食の大切さを伝えるとともに、家庭での実践に役立つ取組の提案、講習会等を実施しています。

6 取材について

- ・取材を希望される方は、別紙取材申込書を御利用の上、7月3日（火）正午までにFAXまたはEメールにてお申込みください。
- ・車での来場は御遠慮願います。
- ・当日は腕章を御持参いただき、取材中は着用をお願いします。
- ・児童のプライバシー保護の観点から、撮影等について配慮をお願いしたい点がありますので、御理解をお願いします。詳細は当日、現地にてお伝えします。

お問合せ先

記者発表に関すること	資源循環局3R推進課長	江口 洋人	Tel 045-671-2563
ESD推進に関すること	教育委員会事務局指導企画課長	宮城 篤	Tel 045-671-3233

取材申込書

横浜市資源循環局3R推進課 宗像・石川 宛

FAX: 045-663-5834

誠にお手数ですが、取材にお越しいただける場合には、本取材申込書に御記入のうえ、

7月3日(火)正午までに御送信くださいますようお願い申し上げます。

メール(sj-3rsuishin@city.yokohama.jp)でもお申し込みを受け付けております。

(※メール本文に以下要素を記載ください)

国連機関と連携した「食品ロス削減学習プログラム」

FAOポリコ所長による講話授業

日時:7月4日(水) 11時25分 ~ 12時10分(受付開始:10時50分~11時00分)

※防犯及び安全管理上の観点から、上記時間帯のみの受付とさせていただきますので御了承ください。

場所:横浜市立日枝小学校 体育館(横浜市南区山王町5丁目31番地)

■ 貴社名	
■ メディア/番組/部署名	■ 人数(御本人を含む) 名
■ 御氏名	
■ 御連絡先 TEL. FAX. 携帯 E-mail	
■ カメラの有無 スチール 台 ビデオ 台	
■ 取材項目 <input type="checkbox"/> 講話授業 + 給食(12:30~13:00) <input type="checkbox"/> 講話授業のみ	

※ 児童のプライバシー保護の観点から、撮影等について配慮をお願いしたい点がありますので、御理解をお願いします。詳細は当日、現地にてお伝えします。

※ 当日は腕章を御持参いただき、取材中は着用をお願いします。

会場:横浜市立日枝小学校

神奈川県横浜市南区山王町5丁目31番地

十分な駐車スペースがございませんので、公共交通機関での御来場をお願いいたします。

横浜市営地下鉄「吉野町駅」より徒歩3分

京浜急行電鉄「南太田駅」より徒歩8分

